

平成 19 年（2007 年）9 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（2 日目）

平成 19 年 9 月 14 日（金）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 公共事業の 入札契約につ いて	(1) 税金で行われる公共事業とその財源を特定の人物・業者と結んで食いものにする官製談合、そして落札率の高止まり、贈収賄事件、「政治とカネ」の問題に国民の怒りと批判が噴出し、行政への信頼が大きく揺らいでいる。認識を伺う (2) 全国市民オンブズマン連絡会議、日本弁護士会、公正取引委員会委員長は、談合による落札率について、どのように指摘しているか (3) 市の公共工事の今年度、昨年度の入札件数、落札金額、平均落札率を問う (4) 中立公正な立場で、客観的に入札・契約についての意見・具申、透明性の確保、競争性の向上、不正行為の排除、適正な施工に資するために第三者による入札監視委員会の設置、談合情報の 24 時間受付可能な通報窓口の設置、職員が弁護士と相談し違法行為を通知できる公益通報制度の整備について伺う (5) 自治体のトップや幹部、OB、議員、業者らからの職員への不正な働きかけを防止するために「口利き」を記録する制度を設けている自治体が都道府県と県庁所在市などの全国 119 自治体のうち約 4 分の 1 にあたる 31 自治体が増えている（朝日新聞社 07 年 1 月調査）。公共事業の執行、市の仕事に対する市民の信頼を得るためにも今年度中に制定すべきではないか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 教育行政について	(1) 全国学力・学習状況調査の公表は、生徒・児童間、学校間、地域間の序列化、格差拡大につながる。国会における首相や文科大臣の答弁、政府の指導に沿い、学校単位は非公開にすべきである。見解を問う 学力・学習状況調査は、様々な私生活にかかわる調査がある。日本弁護士会などは、児童生徒やその保護者のプライバシー権を侵害する疑いが極めて強いのみならず、行政機関等個人情報保護法にも違反すると断じている。見解を問う (2) 那覇市の教職員の病気療養3カ月未満の病気休暇の実態とこころの病者数。こころの病は、長時間勤務、45分休暇が取れない、仕事の自宅持ち帰りなど多忙が要因ではないか (3) 定数内で任用されている臨時教諭数を問う。定数内臨時教諭は、子供たちの教育権・学習権を安定的・効果的に保障する立場から、県に対して本務教諭として採用し配置するよう求めるべきではないか
		3 モノレール延長について	延長検討委員会で最終案決定後のスケジュールと課題を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	山 内 盛 三 (自民・無所属 連合)	学校教育行政 について	(1) 学校給食センターについて ① 病原性大腸菌O157の汚染源の特定と対策について ② 県内においてO157発症患者の状況について ③ センター移転のメド及び運営形態と財政状況について (2) 全国学力テストについて ① テスト概要、経緯、意義について ② 43年ぶりに全員調査を復活させた要因について ③ 結果公表の取り扱いについて (3) インターンシップ職場体験学習について ① 職域、業種について ② 実施状況について ③ 評価と職場へのフォローについて (4) 分校教育について ① 分校の定義 ② 分校の実態と規模 ③ 本校との教育連携について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(5) 学校周辺の治安について ① 不審火や放火の発生状況について 特に中学校クラブ部室への放火について ② 連続して発生したことへの対策について (6) 生徒の健全育成について ① 非行事実での補導実態について ② 対策について 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 浜 美早江 (公 明 党)	1 要保護児童 対策について	(1) 本市の現状と課題について伺う ① 過去３年間の相談件数 ② 各施設における入所数 ③ 待機児童数 (2) 関係機関との連携等はどのように行っているのか (3) 里親制度の概要と活用状況
		2 DV防止対 策について	(1) 今回の一部法改正の概要について伺う (2) 本市としてどう取り組むのか伺う
		3 男女共同参 画について	(1) 第２次那覇市男女共同参画計画について 評価と課題点を伺う (2) 第３次那覇市男女共同参画計画について ① 策定に向けてのスケジュールを伺う ② 提言をどのように活かしていくのか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 防災行政について 2 繁多川公民館・図書館の駐車場問題について 3 第一牧志公設市場の運営について	8 月 11 日の大雨災害から (1) 長田 2 丁目のマンション建設現場での土砂崩れ問題は、急傾斜崩壊危険箇所の開発行為に原因があるのではないか。県と市の対応を問う (2) 南部医療センター前の環状 2 号線を横断する排水路が氾濫した。以前にも改善を求め、今回も現場で対応を指摘したが、その後の対応と対策を問う (3) 真和志高校下の地すべり工事において、最終的な排水路工事が行われておらず、大雨のたびに住民の不安を大きくしている。県と協力して早急に対策をとるべきではないか 中庭の駐車場を廃止した理由と、車でしか利用できない市民への対応を問う。また、夜間や道具を使うサークルなどへ配慮し駐車場を周辺に確保すべきではないか (1) 第一牧志公設市場は本市の歴史の中で、どのような役割を果たしてきたか (2) 空き小間の数は幾つあるのか (3) 小間の「使用権を継承させない」ということは、本市の中小企業育成の方針に反するのではないか。継承できるようにすべきではないか (4) さまざまな理由で賃貸料を滞納していても、現にそれで生計を立てている業者を追い出すのではなく、使用条例の弾力的な運用と小口融資など、零細業者を保護・育成することこそやるべきことではないか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 第 8 回全国 児童館・児童 クラブ沖縄大 会について	第8回全国児童館・児童クラブ沖縄大会がH19 年11月3日、4日（2日間）行われ、県外から200 名参加しての、本市で開催される。大会等への支 援策と取り組みについて伺う
		2 児童クラブ について	児童クラブに通う障害児へ配慮した施設整備 について
		3 「熱中症」 予防について	(1) 全国的に温度上昇については、異常気象と して地球温暖化の影響とも言われているが、県 内「熱中症」の発生件数及び死亡数と予防対策 について伺う (2) 10月 は運動会シーズンとなるが、小中学校 においての「熱中症」の予防について又、中 学校での部活動への指導について
		4 E S C O 事 業について	那覇市立病院への E S C O 事業導入について 伺う
		5 道路行政に ついて	石嶺福祉センター線への道路整備の進捗状況 について
		6 教育行政に ついて	石嶺小学校の石嶺福祉センター線の道路整備 に伴い正門の位置変更について
		7 交通行政に ついて	石嶺小学校前の横断歩道と信号設置（押しボタ ン式）について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	多和田 栄子 (社社連合)	1 那覇市立病院の地方独立行政法人化について	(1) これまで、入院における診療報酬は看護師の人数を基準としており、看護師が多ければ診療報酬が増える仕組みとなっている。市立病院の「独立行政法人化」は、「7：1」の看護師配置基準を導入し、診療報酬を増やしたいというのが根拠となっている 厚生労働省は、入院における診療報酬を見直し、患者の症状に応じた「要看護度」という新しい基準を策定すると報じられている 要看護度が低い患者が多ければ看護師が多くても診療報酬は下がる結果となる。そこで次のことについて見解を伺う ① 「要看護度」導入について、情報は得ていたのか。いつ頃把握したのか ② 「要看護度」導入により「収支 5 カ年計画」はどうなるのか ③ 「要看護度」導入により「7：1」看護師配置の見直しもあるのか ④ 平成20年度の看護師の採用予定の合格通知者は何人か (2) 評価委員会の条例制定が提案されている。その選考基準は何を根拠に選考されるのか (3) 債務超過した場合、職員解雇の責任はどうなるのか (4) 医療制度はめまぐるしい勢いで見直されている。入院費の抑制が目的となっている 制度改革の推移を十分に見守って慎重に対応すべきと考えるが、独立行政法人移行を先送りする考えはないか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 就学前保育について	(1) 市立幼稚園の短期・中期展望について当局の見解を伺う (2) 待機児童解消のために幼稚園の空き教室を利用して保育園の分園を検討しているとのことだが、当局の見解を伺う (3) 子育て家庭就労支援モデル事業の進捗状況についてはどのようなになっているのか
		3 安里川地域の浸水被害について	市としてどのような調査をやったのか。さらに被災者支援をどのように進めているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、病院事業管理者、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	翁 長 俊 英 (公 明 党)	1 旧国場川河川（仲井真地域）の跡地利用について	(1) 旧河川の本市への無償譲渡の進捗状況 (2) どのような跡地利用計画になっているのか (3) 地元の意見はどうか
		2 私道整備について	(1) 私道整備補助制度の意義 (2) 本市内道路の全長と公道と私道の割合 (3) 私道の整備率 (4) 未整備の私道の今後の考え方
		3 下水道整備について	識名 1 丁目 24、25、26 番地の下水道整備の進捗状況
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 19 年 9 月 14 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	上 里 直 司 (民主クラブ)	1 安里川の氾 濫と防災行政 について	(1) 去る 8 月 11 日の大雨によって発生した安里川の氾濫について、災害発生時の状況、降雨量及び本市がとった取組みについて (2) 県との連携について ① 当日、県から通報や情報提供等があったのか ② 今年の 4 月の氾濫時の降雨量と、その際の本市の対応。その氾濫を受けて県が委託した調査の報告書を市は受け取っていたのか。また、1998 年のモノレール建設工事中に発生した浸水についても県は調査を行ったが、その時の報告書の内容について把握しているのか (3) 過去の降雨量やその際の被害状況と今回の被害状況は何が違うのか。蔡温橋の改修工事が氾濫の原因だと指摘する声が多いが、当局の見解を伺う。また本市として原因究明をどのように行っていくのか (4) 被害実態の調査はどのように行ったのか。被害内容や被害額の把握のための調査の実施は必要ではないか (5) 蔡温橋周辺の事業主は多大な被害を受けたが、本市の見舞金制度や融資制度を利用できないのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 特別支援教育について	(6) 再発防止にむけて ① 被害のあった地域の道路建設及び管理、都市計画に不備はなかったか。また牧志・安里再開発事業進捗にどのような影響があるのか ② 再発防止にむけて、県やその他の機関との連携にどのような課題があるのか (1) 特別支援教育に関する平成19年文部科学省の予算措置で、那覇市に交付された額は幾らか。それによって、何人のヘルパーが配置されることとなったのか (2) 現場から要求されている特別支援ヘルパーは何人なのか。それに対して本市としては何人配置しようと計画しているのか (3) 発達障害支援センターが設立されたが、このような外部機関と本市の間で連携体制をとるべきだと思うが、連絡協議会などの設立は検討されているのか。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長